### 組合の楽しい便り 投稿歓迎します

### 東京都ラベル印刷協同組合

憂111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

# No394

平成 29 年 10 月号 編集:広報・情報システム委員会 TEL(3866)4561 FAX(5821)6443



# 夏はやっぱり屋形船です!

22 名が江戸情緒を満喫す 恒例となった組合納涼行事







後 加 初 型 催 を ま 夏 和 年た カュ 利 宿 な さ 厚 形 り 田 日 れ

回台た 京 向 1 か出 IJ が

員 る  $\mathcal{O}$ のし た福福た 利 利 厚 声加 厚 生 生  $\mathcal{O}$ あ増 え 目 加 7 L 的 もが次く従

た挨 け す は

舟

 $\mathbb{H}$ 

Ш

田

ま

う 理 誰 題 舌 ル もの鼓 6

# 日印産連創立 30 周年記念

# 盛大に印刷文化典を開催

GP環境大賞も発表 7 な シ か 歓 彰 懇 さ 原 ] 5 L 5 境 談 受 親 常 ま が賞 会 ル L 北 印 者 が 社 た。 海刷 長

彰

で

組は、

協

合

連 全

合

)が

奨 IJ

励 ン

賞 グ

同

工七組

治 印振 氏 が 協 そ 同に 俊 工 夫 業 組は 氏 協 ぞ 合 理 が同 れ 元 表 事 兀 組 玉 彰 長 ま 合 さ  $\mathcal{O}$ シ た 理 1 印事 れ 原 眞 刷長 ル

賞二 がか 刷 彰 功 で + =  $\equiv$ 労 は で 年 賞 Ł は 印 設 が四文 り 個 表氏化 立 人 彰 賞 日 に  $\bigcirc$ さ印五 印 れ刷氏 産 周 特 別た振 • 連 年 賞ほ興印表記 2017年9月印刷の月 記念式典

で念続 寸 は L 11 て、 て へ大の の賞 G 設 Ρ <u>\f</u> 団 環 与 が体境○ 大 周 行 わ準賞 年 れ大表を

催 さ オ 日 度 日 n ] 紀 印 義 本 尾 ま タ 刷 水) 会 印 L 井 文 刷 た。 町 午 化 <u>つ</u>の 産 鶴  $\mathcal{O}$ 平 ホ は  $\mathcal{O}$ 兀 連 成 時 間 テ 合 か九 ル 会 + 月 で =5 開 ユ 東 +九 Ш

5 れ団 ま体氏十刷あ L た

٢, 午 後 六 時 か

新

関

東

特

殊

加

工

協

 $\bigcirc$  $\bigcirc$ を盛 1) 広 囲 大 す げ に W 開 6 で 加 れ和催 者 まやさ を かれ得

のルは た。 刷興藤印印 賞木刷刷 功 労 賞 日 に 印 元 産 京 連 都 表 シ 彰 1 で かして っ押

者て装印ては、 等 L 間い飾 か る技  $\mathcal{O}$ 0 横 が 術  $\mathcal{O}$ لح 繋 今 L ま が 7 1) で 注 は後 目 な加 を 工集 11

組

築

域 奈

者

に後の紙工

7

称いは種工ま 期 加 る 必加技た 待 工  $^{\sim}$ 複 لح 工術  $\mathcal{O}$ 判不業 に 合 要 特 た 求 殊 可 者 対 化 8 欠間応 に 囙 0 • 年 لح 複 応  $\mathcal{O}$ す 刷 た Þ Ł な連 る雑 え 加 高  $\mathcal{O}$ 0 携 た化 る 工 ま 度 7 た  $\emptyset$ す • る るめ 協  $\mathcal{O}$ き 力各加  $\mathcal{O}$ 後 て

さら

に

需

要

لح

L

大て後加をの

لح

一般社団法人 日本印刷産業連合会

### 都 光 沢 加 工 紙 殊 協 加 組 が 協 名 称 変 組 更

た。 刷拔 T 部 5 協 月 活 合 東 会 そも 物 ス 表れい 動 同 鶴 とし  $\mathcal{O}$ ジ 面 くこと 有 今 す ま 組 日 都  $\blacksquare$ 付 加 加 志回 る で 合 ょ 和 工 てれ 新 加 工 約 ŋ 光 也沢 Þ に 今 二 た 〇 に Þ 価 光 沢 理 化 名 箔 な を 値 特 後 沢 加 事 称 東 を 殊 押 り 事 部 社 箔 発 工 紙 印 ま 業 変 特 高 会 が 押 表 業 更 刷そ しを  $\otimes$ 加 業 L は た行箔入界 に業める 界 は L ま L 加 工持減 Ш 生加人器 で  $\mathcal{O}$ . と ど 業 ま 少 と光 県 た加 者 7 以 組 0 T ま 工 T 沢 界 傾 同 な た のち 員 11 11 れ 工  $\mathcal{O}$ 上合 11 ど、 きた ま う 向 じ ネ 変 総 に な 4 < 11 で は 加 特た ٠ ۲ が ツ 6 東 わ 合 広 な 幅 工 が  $\vdash$ 関 ず < が殊 続 11 京 る的 5 る 広 紙 とし لح 年 ワ 埼 開印ず 表 き 東 都 な < 組 ] 々 首 か 刷 玉 内 L 面 目 合 組 クを れ加箔 ら刷危 て 都 県  $\mathcal{O}$ て界 光 的携 Ł 合 巻 事 の機 い 団 工押 沢 と 11 多 る 構 業 今 後 感 員 全 神 業 る 体 • 加 L 共

注 き 産 周 同 寸 な連 今 辺 影 業 傘 回 結 界 を 後 下  $\mathcal{O}$ E を 义  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 名 他与他 0 ŧ 称 た 呼望性 寸 え  $\mathcal{O}$ もびめか印 寸 体 る 更 のかる 体 は け  $\mathcal{O}$ に

> ŧ 日

があ大印

き で

# 61 まさら人には聞けない常識について<br /> ①

# な は 年賀 状 0) 正 しい 書き方を知 って V ま す か

 $\emptyset$ 介 賀識すはや L 状 カュ 正 の今。出回今 Ł ま L 賀 す。 V 状 更 L は 知  $\mathcal{O}$ 6 人に 読恥方 身 をか を。 に L 近 を かつかい に 聞 方 迫 け 0 てご った ない な 7 あお 11 1 な 歳 常 た 紹 年 ま た で、 ま 賀 ち 御 状 祝 4

### 年■ 賀年 賀 状 の 出 し 方

状

 $\mathcal{O}$ 

本

質

は

相

手

先

う。

度

のご

拶

代に近祝 し りやも  $\mathcal{O}$ L 況 j ま 従 0 新 表 言 的 な P せ 業 で 年 員 け 状 あ な W を 葉 始 ý, を 迎えたことを 恥れ況 がめ ずばは 最 に 年 祝 うも 賀状 差出 相手 後 初 かい け に L で ま 書  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 人  $\mathcal{O}$ 11 せ < 新 常 で  $\mathcal{O}$ 例 自 视 とし 家 h<sub>o</sub> よう 年 分 は 識  $\mathcal{O}$ を لح あ 族 う

ざ V ま け ま し て お め で とうご て

お 事 年 -こそは ح 月 願 元い叱 且 申 咤 じ は有意義 し の ま 上 00 す、 ほ 一げま 何とぞかり を な 0 何 す。 ع よろ 年

くがな、  $\mathcal{O}$ よっ す。 毎 忘 に 11 な 年れ一 年 は と  $\mathcal{O}$ t 年に 賀 確 て 基 難 言 相 状 しま 本 葉も を L ル 11 を です 度 ] 書 て 11 あ 重 自 「き ま 恥が  $\mathcal{O}$ ル り ん 分 かち ľ ず 事 が が ま  $\mathcal{O}$ L かで な あ せ る 抱 す ょ し  $\mathcal{O}$ ŋ 年  $\lambda$ 負 は、 もな る、 新 تلح 出 年」 の同 年 同 ばの 産 は じ れ 場 祝

手を思し う。 賀 足 け 取 だ 状 け づ 0 た に . やる気: 0 ŋ 相 な らな É 手に 送る 心 喜 側 持 が 11 けば ょ 5  $\mathcal{O}$ う、 を は、 伝 まれ 自 る L 己 伝 受 よ年 満 え

自分る状後分の言に回 る  $\mathcal{O}$ 回そ  $\mathcal{O}$ が 近 葉 は L  $\mathcal{O}$ 7 話 況 を相 に 為 ナー は二 を 八 手 L に £ 書 のこと 割 ま 割 で き L 自 そ 添 程 よ分 う。 を 度 えの  $\mathcal{O}$ に ま 思 上 近 抑す。 で 自 い年況 え や賀は

い司の る や写 ま 取 真 引 入 お 難 先 り 子 ども な 付  $\mathcal{O}$ た 年 き 賀やす。 合 だ に Ļ は 家 状 は族な L 出 家 な て さ い族な 上 تلح

ることが 合 *\* \ 「あ は、 を ١, け 写 た あ ま 真 だ むて」 ります 入りで い た、 修 う 正 表 ペン に

لح 意 あ け ま L

相 し 〇 ら よ X ¬ う X 平 「い合使は、 と 元 同 いう意味 時 児旦」は「 う X 。 年 月一日 す」と書きまし 成 使うの じ意 年 新 X 年 Ν X な新 G 味 お 元 年 旦と 0 年 は ح  $\otimes$ で な でとうござ で、 最 N 元  $\mathcal{O}$ 元 初 G で 旦」「ニ 旦 使うな 書きま ょ 使 同  $\mathcal{O}$ う。 らう場 朝 て 時 を  $\sqsubseteq$ に

₽ 仮わないる味が同 賀 正 同 ح じ なあ の け で ま いして」 重 ね て

で لح 年う『使 賀 いうことで 正 意 月 味 がにい 謹 を 祝 あ は  $\lambda$ ِ غ ا りま で 喜 す 新 3 と す。 年 • 『賀 1 を 祝 うこと 祝 う 謹 正 غ う 賀 は 新 1

縁 年 起 賀 の 状 は 縁 起  $\mathcal{O}$ 悪 ŋ 11 を 表 !!

現

は

避

けま

しょ

う。

去年

現昨 年 は 替 N え P ま G 旧 年」 · う。

きま 円 郵 ガ な修 L ...で新 便局 キを よう。 < 正 す。 ペン き L に 書 初 損 でごま い持 き お  $\emptyset$ U 年か玉ら ハガ 参 損 て す じ L 書き 丰 れ た 付 か ま 場 き す 0 交 合 年 直  $\vdash$  $\mathcal{O}$ 換 は 賀 で 枚 L 5 ま OT

### 赤 のイ ン クも N G !!

書きま Ł  $\mathcal{O}$ に 同 ペンや、 出 目 す年 様 濃 上 で 紺 L 0) · 賀 ょ す • 人 う。 状 青 毛 B は、 は 取 万 Ο 引 黒 筆 K 年 先 ペン 筆 1 な ン  $\mathcal{O}$ 宛 で ク تلح 名

# 空白 ₽ N G

のた年 たった で、た 種型 < 合でも、 さ よう れ 最 て 近 文だけ 手  $\mathcal{O}$ 張 **,** \ ょ 、 る 年 ·書 と言 ŋ 印 < ます ま 刷さ あ L で で で 賀 る ! コ Ł は ょ れ 状 メン ブ 充 な た を など、 **3**く「今 IJ 分 味 使  $\vdash$ で 気 う 場 す な

相 は大 丈 夫 で 来 の 年

### に ? 減 税 率 制 度 つ て

ま

す

さ る に 上 軽 れ 消 品 る 配 げ 減 費 £ に 目 慮 税  $\mathcal{O}$ す 合  $\mathcal{O}$ 率 で 消 るわ す 観せ 費  $\bigcirc$ 税 点 て、 %  $\mathcal{O}$ に か 対 低 0 6 象  $\mathcal{O}$ 11 実 所 て لح 施 得 引

上

げ

لح 月

同

時

カュ (消

5

で

す

う

あ

ŋ

ま

十 実

日

率

引

き

施

時

期

は

平 費

成 税

三

+

さ 軽 減 税 率 八 % が 適 用

たな対 しら 応たず が 求 L 経 谪 た 理 毎 6 日 請 用 れの求や税 ること 仕 書 率 複 事 لح のの数 中発税 に な で 行 率 新 に分

って何?

# 「消費税軽減税率制」

# すべての事業者に関係があります

飲食料品と新聞が対象ですが

れ ま す

事 業 者 は 業 種 に カゝ 区か わ 記

# は軽 ? 減 率 対 象

目 لح 飲 食

れ税や一 除法 ま 率 ケ 体 き に 飲① ま せ  $\mathcal{O}$ ] 資 規 食 タ 産 す 定 料 夶 IJ す 品 象 Ś 含 を لح 品 4 い食は 目 等 まい 品 はす。 食 は 酒 品 含 定 外 類 表 ま 減 食  $\mathcal{O}$ を 示

### 2 新 聞ん

約 さを等 新 聞 に 掲 に れ 軽 政 関 基 る 載 لح 減 治、 づ ŧ す す は 税 < る  $\mathcal{O}$ る 経 率 £ 週 済、 0 定 般 2  $\mathcal{O}$ 定 対 社 で 口 社  $\mathcal{O}$ ☆会、 期 す 以 会 題 と 上 的 購 号 文 発 事 な を 読 契行実化 用 る

### بخ の ? **Ø** ■ 日 ょ Þ う 0 な 取 影 引 響 æ が 経 あ 理 る に

率や 載 方税の仕日 載 す 法 率 確 入 Þ る は帳 れ  $\mathcal{O}$ など、 簿 業 など 経 税 務 率 請 が で を求 定 の取 必 区 書 要 扱 等 分 適 で 用商 L  $\mathcal{O}$ す て 記 。税

対

象

品

目

を

扱

わ

な

11

事

لح 事 必 に 消項 要 区 分 加 税 が わ  $\mathcal{O}$ 7 り 申 ま 税 告 額 は 計 税 算 率 を

合もな が 対い■ あ 応 業飲 ŋ が者料 ま 必や品 す。要免の と税取 な事扱 業い る 場者が

応仕て 率 免が 入 対課 ŧ, れ 必 象 税 要 軽 品 事 経減 で 目 業 す 税 費)  $\mathcal{O}$ 者 売 率 の が対 上 方 あ 象げ 品が軽 れ 目な減 ば < 対  $\mathcal{O}$ 税

す求 分 業  $\otimes$ 者 記 لح 税 6 載 取引を 事 れ 請 業 る 求 者 場 書 行う の 合 等 方  $\mathcal{O}$ が あ 交 合 課 付 ŋ 税 を区 事 ま

あ

りま

す

### 影 が す あ ベ ŋ て ま 0 事 業 者 に

ん。 ま ど議 業 う 的へ 事に す はや 者 の消響 ح 納 ŧ 業 接 飲対 費 軽 客 れ 者 食 応 税 税 時 贈 だ 料 減 5 が 額 答 を け 税  $\mathcal{O}$ 品  $\mathcal{O}$ 必 軽 用 で 率 茶 取 B 要 計 減す な の菓の 扱 は新 税 対の食わあ 聞  $\mathcal{O}$ 率 象購品な は 影 り を ま 制 と入 取基 響 11 なな会 事 せ 扱 本 度

行 経 軽 理 減 を 税 が 行 含 率 標 V 8 進 ま す 税 % す 率 シを 区 0 0 分 課 %<u>)</u>と L 税

7

事

あ 修 ŋ 等 ŧ が理 す 必 シ ス 要 テ に A な  $\mathcal{O}$ る 可変 能 更 性 が改

のル 5 税 者 等 発 取れ 額 経 適 行 に理 ル 引 7 計 用 が に 算 対 が 11 先 税 要 基 ま  $\mathcal{O}$ L で カュ 率 求 特 て き づ 5 さ 例 は な 11 と た れ 措 1 に L 中 根 請 置 11 区 定 小 求 が لح 書 記 期 企 分 設 等 間 業 が け L

た計 あ 5 請 が る 免 た 旨 軽 税 あ 求 り 書 対 減 事 ま 等 Þ 価 税 業 を す  $\mathcal{O}$ 率 者 求 額 税  $\mathcal{O}$ ŧ 率 対 8 取 象 5 を 引 と 品 記 れ に 先 る 載 目 合 で カコ

9 0 専 タ 費 日 付 る 税 祝 3 用 ~ け 除 O ダ 軽 軽 軽 て相 0 減 お談減 イ 減 ( 4 税 Y は税 ŋ コ 1 5 率 ル 率 ] ま 7 6 電 す以制 ル 0 話 セ 下 度 0 5 受 相 に 0 で 付 7 談 1 タ 受関 時 0 セ 消け す

# コ 主 ij

のいいつが事 る 及 実 11 は う 人 て ぼ で で は 正 は す す コ す L 健 は う لح 思い 康 L 体 ま カュ 知 知 1 う 識 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 知 害 Ł ほ を 悪 が ŧ 影 7 のタ カュ あ バ バ 響 な 少 0  $\mathcal{O}$ コ な て に

報

告

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

年)

に

ょ

る

1

9

倍

高

لح

が

わ

で

かは男

玉

際

が

W

研

密 な < W 接 タ に 心 Н 日 関 バ  $\bigcirc$ コ  $\mathcal{O}$ は 0) て 脳 肺 11 が 中 ま 死 す 因 0 لح

かな

て が

いること

が  $\lambda$ 

改  $\mathcal{O}$ 

8

て

喫

煙

多

<

0

が

原

因

宮

頸

部

髄

骨

髄 尿

白

性 路

臓

)など

が

あ

げ

6

れ

7

お

V)

臟 喉 肺

頭

咽

頭

食

道 と 位 W

胃 鼻 L に

な

証

が 煙

あ

る

部

発

性

実

ま

L 8

た。

が四

П 拠 喫

腔

腔

副 لح

腔 て 確

## No148 健康がいちばん!

# タバコの害を正しく認識し

を識禁 強 大 <  $\mathcal{O}$ す タ 死 重 因 る バ を コ性 を じ歩 B めな  $\otimes$ 0  $\mathcal{O}$ る 多 カュ < で 決 り のす 心

ベの タ 関 バ 連 コ が を لح 真 V 0 先 ح لح 思 に 肺 思 いが ま す 浮 W

一日も早く禁煙に取組みを

ま 発

ح 密 接 に 関は 中 لح 病 出

が ŧ 血 لح す < タ 眀 る バ IJ かに コ ス カュ て り を に ク 梗 さ いやい 塞 吸 がが う 高 ます B れ

<

厚 生 労 コ 研 な IJ 究 ス 目

喫

究 W 関 関 だ で け  $\mathcal{O}$ 性 لح 亡 る b 的 喫 で が 率 な 煙 1 は 1 タ バ 死 5 人 1 に バコ 5 亡 研 比 コ を 倍 率 を 吸  $\mathcal{O}$ る 吸 う 関  $\mathcal{O}$ 女 Ĕ, 性 人 係 0

たの

血 子 肝 亡で す性 8 は 2  $\mathcal{O}$ 3 男 ま 性 は循 倍 た 男 7 環 1 2 性 器 6 系 臓 倍 1 W 1 لح 病 疾 に 倍、 患 な 4 P ょ 0 1 に 脳 女 る よる 卒 性 て 死 1 亡 中 11 女死な で ま

もがや と 男 すい すコ な 性 N な な が  $\sum_{}$ ŋ で だ わ原 け  $\mathcal{O}$ ま 割れ ち因 結 ば で L 合 <u>~</u> % を 死 死 を タ 亡 亡 バ 推 Ł コ 女 計 L す と る 性 す を ると、 < 吸 割 で T 五. って 合 タ ŧ %

毎  $\bigcirc$ 年  $\bigcirc$ 十  $\bigcirc$ 万 年、 人 が 命 わ ざが 落 玉 と で

3

倍 梗 血

1

日

 $\mathcal{O}$ ŧ 塞 性 は に ホ 生 ま

喫 高

煙 <

数

多 L ス 心

なほ

タ

バ

コ

ょ

る

ささま

ま

病は

す

いか

本な

り、

筋 虚

心 吸 ょ ] 労

疾 わ

狭 人

症 比 コ  $\bigcirc$ 

に

な 患

る

IJ

ク

う

人

な

11

に バ

ベ を  $\bigcirc$ 

タ

年 的

コ 厚 り 0

 $\vdash$ 

省

研

究

班

た。 膜 る す倍え 者 タ の気  $\bigcirc$ バ に 々 ょ  $\bigcirc$ コ 人 が 九 亡 て 原 < 六 + た 因 五. と 五. 0 な ž た 年 0 万 に 間 にれ て 兀 二 る 万 死 千 V で ま人な 約 を す。 最ま五 考 亡 ŧ

لح

£ 脳 ま <

L

死み カ 大 早 病 死 気  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 原 原 は因 因 で あ り

最

を

# 喫 煙

なは、 う人 す 副 質 P に タ が 5 と 2 とは、 0 気 を「主 流 は 吸 1 混 主  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ぼ  $\mathcal{O}$ 自 そ 煙 酸 を タ じ を  $\mathcal{O}$ 1 流 火 煙 0 そ バ  $\mathcal{O}$ とに  $\mathcal{O}$ に 通 ŋ る 喫 汚 分 主 化 込 煙 者 状 流 ば ま 煙 同 少 で た 多 流 炭 コ 合 0 0 は 本 煙 態 量 < 素 て 副 V 者 す U は  $\Diamond$ 煙 れ  $\mathcal{O}$ 0 燃 \_ と 人 が 内 タ 含 ょ ま 喫 た た が る 状  $\mathcal{O}$ VI な 流 焼 が 受 バ ま ど す 煙 状 煙 部 態 タ る タ り 部 11 温 バ き 非 れ ŧ  $\mathcal{O}$ 者 Þ 態 分 度 11 を 喫 フ 出 コ ま 喫 な コ コ て む 有 タ  $\mathcal{O}$ で  $\mathcal{O}$ カゝ が 込 を 吸 す 2  $\mathcal{O}$ す 煙 り 煙 を L 害 体 イ 5 す 11 ま わ ろ 内ル 高 つ立煙煙 吸 ま 物 ル

き そ で な 周の す。 ダ 用 煙 メ  $\mathcal{O}$ は 人 Þ タ  $\mathcal{O}$ バ 健 康 を え て に 吸 ŧ わ

料

http://nonsmoking-club.jp

にポ連ムの規ル区 は 十 開 出 展 後 ラ 展 月 楽  $\exists$ 発 示 以品 世 ベ 会 ま 界 降 兀 ルの 口 ツ 用 最 ア ラ パ 1 大 れ べ  $\mathcal{O}$ 6 テ 着 ル ム ラ  $\mathcal{O}$ 素 は

1

ル

を ア

材

新 ] 京

のシ

ラ 力 ベ な 1 ル 粘 粗 素 着 面 力 に を 対 発 し 揮 て 超 非 強 常 粘 に

ク

東

文

L ポ < 発 て IJ 11 揮 非 電 L 力 粗し 常 化 0 1 面 に ラ カュ ボ B 強 ベ ネ ポ ŋ 力 ع リル 1  $\mathcal{O}$ な 貼 プ 表 1 を 粘 口 貼 付 な 示 着 ど  ${\not\vdash}_{\!\!\!\!\!\circ}$ で 付 に き レ 力 L 理 ま 対

工 ベ

ス 関 テ

七 キ

> ン に 強 ジ と 力 まべ包 ル 材 が タ  $\mathcal{O}$ た で グ 強 な用 き な さ 粘 J.,  $\mathcal{O}$ ま ど لح ŧ 着 セ に 特 剤 L 丰 て Ł 徴 面 ラ

適 ツ 低 ク ② 移 容 医 行器療 性の ラ 表 医 薬 示 ル ラ 用 素 ベ プ 材 ル ラ に ス チ

期ルがいス従医 るがを プ 限低プ ラ 素 進 プ 製 来 薬 の内 貼 ラ ま 分 比 ラ 子 ス 材 묘 付 ス で む かの を 容 較 チ  $\mathcal{O}$ 中ス 5 バ 容 抑 液 チ 抑 量 的 IJ で チ た ツ え 成 ツ 器 制 に ク 用 ツ ア 際 ク た 軽 移 分 な L IJ どに 容 粘 を 拡 ク ま に < 性 行  $\mathcal{O}$ ア て 含 す 器 大  $\mathcal{O}$ 製  $\mathcal{O}$ 粘 着 透 性 は 粘 割 高 お 着 に 剤 有 過 設 量  $\mathcal{O}$ 大 着  $\mathcal{O}$ れ 剤 ラ す 11 い医汚 ベ る、 て、 低 代 ガ 染 成 を 11 ラ に 療 計 に ベ 替 < ラ す 分 ル 極 で 11

曲面 が 表 面 に ③ 待 追 ₽ 複 従 ピ雑 ツ な タ ル IJ 次 ح 曲 材 追 面 従 Þ 三凹 次 凸

兀 面 五. 基 材 m と と 粘 非 着 常 に 剤 薄  $\mathcal{O}$ 手 総

ル 別

最

Ι

Ν

用

ラ

厚

す 利 で 同 最 IJ 用 士 適 テ ル バの す で イ るこ ゲ 接 す 1 商 ] 着 ラ 品 スれ採 す 対 力 用 殊 る フ 粘 7 ] 屋 L B 外 透 1 着 高 凸 モ 使 明 ル 素 11 1 用 性 A 材 貼

最 **剤** ど が **④** に 軟 過 包 性発表最

を

実

現

]

ザ

1

発

色

色面

薬は品な

<

基

材

し、

レ耐で

性

Þ

耐着

さ れ ま採 す ラ

シール用粘着素材の新規開発品4アイテムを

「ラベルエキスポ・ヨーロッパ 2017」で発表

Ŀ١  $\mathcal{O}$ 装 装 フ 適 飾 で イ を す。 ル は A じ タ やを Ł で 付 ] 用  $\emptyset$ す 口 耐 表 性 ラ 模バ 能 候 面 能 な ベ 型 1 性 基 非 曲 を ク 材 ル 玩 に 塩 発 V面 な具な 優 に ピ

ベ 揮 る 情 優 印 が フ 色 耐 Α す ベ 報 薬 字 イ れ 可 を G 透 ル  $\mathcal{O}$ た 品 能 当 る 明 は 面 ル V 自工 銘 改 耐 性 て 白 フ 素 が な  $\Delta$ ザ ざ ラ 材 動程 久や 露 る  $\mathcal{O}$ 色 イ 板 車 管 性 ベ Ì ラ  $\lambda$ 耐 出 表 粘 ル 部理べ 防を擦 لح L ル 側 着に A ラ ル止実過 な素 ょ 品 で カュ 剤 ベ  $\mathcal{O}$ B 効 現 性 い 材 情 6 を ŋ ル 警 果 た 黒 車 な で 報 採 レ 告 £ F.  $\otimes$ す 両 印 印 用 べ 識 字の 字ザ 発 発 Y あ ラ

# 第 五 九 回 IJ テ ツ